

財政ひっ迫 着服事件未解明 なのに 防災センター建設に 7億円超

3月定例会開会前の3日(金)議会全員協議会が開催され、議案説明および議事運営、その他について協議されました。

一般質問(5日、6日)、予算決算常任委員会(7日、8日)の審議を経て最終日採決に付されます。審議で明らかになった平成29年度予算の前進面、問題点や課題など順次お知らせします。

全員協議会を中心に展開された論議を抜粋でごく一部紹介します。

設計確定まだ、金額だけ??

平成29年度予算	6億8776万円
	(千円以下切り捨て)
平成28年度の繰越明許費	3640万円
+ 合計	7億2416万円

防災センター建設の総事業費は、町の発表(3月8日)では7億2416万円となります。しかし、「建設検討委員会」の結論も得ない段階で、7日、図面を突然発表、詳細は確定していません。町は「7割は交付税算入される」と説明しますが、町民負担が増大するのは明らかです。

「当初予算の概要」では「平時の防災教育のための施設、災害時には対応拠点となる」施設と説明。町は、従来から「町民の避難所ではない」と回答しています。

プライバシーの侵害?

その他の協議で、西澤議員は、源泉徴収票の送付に関わるミスの説明を求め、マスコミ発表をすべきではないのかただしました。会計室長は、名前、住所、徴収税額の間違いだったとし、他に1件徴収税額の記載間違いがあったと説明。原因は「単純ミス」だとししました。

甲良民報

2017年3月 696号【補充版】
発行責任：日本共産党甲良町議員
連絡：甲良町在土463(西澤)
Tel: 38-4949 Fax: 38-2242

プレミアム商品券事業を 会計検査院が検査

国の税金が適正に使われているか検証する独立した権限を持つ会計検査院による検査が、甲良町のプレミアム商品券交付事業を含む3事業を対象に実施されたことが西澤議員の質問で判明しました。

甲良町の運用が、地方創生事業の趣旨・目的に沿っていたかどうかの検査があった模様。山田裕康議員の質問(7日)に「文書による指摘はなかった」と回答。今後、公表される同検査院の報告書に「不適切な税金の使い方」の中に記載されるかどうかは不明です。



3月議会最終日

21日(火)閉会：平成29年度予算に対する委員会における審査の経過などが委員長から報告され、各議員の討論、採決が行われます。朝9時開会

委員会：賛成5 反対5

一般会計の委員会審議では、反対討論(野瀬、山田裕康、山田充、岡田、西澤の各議員)ではそれぞれの立場で防災センター、南部工業団地の予算計上を批判。賛成討論を宮崎、丸山、阪東の各議員が表明。採決の結果、5対5となったため、木村委員長が「賛成」の裁定で可決(西川議長は委員でないため裁決に加われない)。

質問時間短縮へ 1議員35分 30分 西澤議員ら「時間確保を」

一般質問の時間を「30分」に議会運営委員会で協議し決めたとの報告。西澤議員は短縮となった経緯を質問。宮崎委員長(副議長)の説明によれば丸山恵二議員が提案し、近隣市町も「30分」が多く、協議の結果、元に戻すことにしたとのこと。西澤議員は、議員の仕事は行政の監視と町民の願い反映・代弁であり、発言機会を増やすことこそ求められる、など提起。山田裕康議員、野瀬議員は「短縮すべきでない」との立場で発言。一方、建部議員らは「議運で決めた事」だとして、質問時間短縮に賛成を表明しました。

ご意見・ご要望をどうぞ。 くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38 4949 丸山光雄 38 3123 松元たけし 38 3875
日本共産党の見解を紹介します。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】